

輝け今日よ

令和4年度第1号
京都府立向陽高等学校
令和4年4月25日発行
<http://www.kyoto-be.ne.jp/kouyou-hs/>



校長あいさつ



昨年度に比べて遅かった桜も、入学式に合わせるかのように一斉に開花し、第48期生200名を迎えて、令和4年度がスタートしました。コロナ禍で迎える3回目の新学期となりました。

入学式に先だって行った1学期始業式では、式辞の中で、今日までのコロナ禍では、あれはできない、これができないと、できないことに注目した引き算の意識で過ごしがちだったが、これからのwithコロナの社会では、コロナ禍で何ができるかをよく考えて、あれはできる、こうすればできるというように、できることに注目し、創意工夫を凝らした足し算の考え方を大切にしたいと話しました。

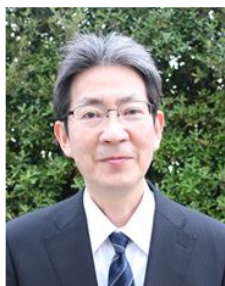
午後から行った入学式の式辞では、高校生活においては、日々の学習はもちろん、部活動や学校行事など、何事にも積極的、主体的に取り組んでほしいこと、また、高校時代の友人は一生の宝になることから、良き友を作ることに努めてほしいことを話しました。

民法の改正により今月から成人年齢が18歳に引き下げられ、高校生は卒業までに成人年齢を迎えます。生徒たちが生きていくこれからの社会は変化が激しく、予測が難しい社会になるだろうといわれており、現在も終息が見通せないコロナ禍が続く、世界各地で紛争が起こるなど、解決しなければならない課題に溢れています。本校では、昨年度から地元向日市に協力をいただき、地域の活性化をテーマにした探究学習をスタートさせました。まずは、足下に目を向けて地域の課題に向き合う中で、基本的な課題解決の手法とともに、社会参画意識を身につけ、徐々に視野を広げながら、国際的な課題にも挑戦する姿勢を身につけてほしいと思います。

2年後には、創立50周年を迎えることになります。地域の学校として、より一層の信頼を得られるよう教職員一同、尽力して参る所存です。引き続き、本校の教育に御理解と御支援をお願いいたします。

校長 遠山 秀史

副校長あいさつ



前任の河村早苗副校長の御退職に伴い、4月より後任として着任させていただくこととなりました谷真也と申します。

新型コロナウイルスの世界的な感染の収束にはまだ時間が必要ですが、生徒一人一人にとって、一度しかない高校生活が、授業や学校行事、部活動など様々な経験をとおして、充実したものとなるよう、困難の先にある光を見つめて、豊かな学びと健康安全の保障に努めて参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

副校長 谷 真也

第一学年部より

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。

これまでとは違う新しい生活を控える皆さんの心の中には、期待も不安もあると思います。大きな期待を抱いて向陽高校へ来てください。学習面や部活動等の課外活動、学校行事など、様々な面で皆さんが成長できる機会がたくさん待っています。向陽高校での学校生活を前向きに取り組むことで、自然と不安に思うことは解消されていくはずです。まずは、高校生活に慣れていってください。

そして、高校生となった皆さんには、これまでと違い、自分の考えや力で乗り越えなければいけない場面も出てくると思います。この3年間で自立した社会人になるための経験を積んでいってください。皆さんと過ごすこの3年間で教員一同、楽しみにしています。

第一学年部長 前川 尚毅

第二学年部より

2年生のみなさん進級おめでとう。

新入生も入学し、向陽高校の先輩としての行動が求められる立場になりました。勉強や進路については来年度の勝負の時をイメージしてどれだけ準備ができるかです。わからないことを放置せず、自ら行動に移せるように意識しましょう。さらに、部活動や生徒会等では、その集団の中心としての活躍を期待されます。中途半端な行動に大きな成長はありません。いかに早く、より具体的な目標やイメージを持てるかが有意義な学校生活を送る上で重要になります。自ら考え、行動していけるように「日々、自己ベスト」を目指し、成長していってください。まだまだコロナ禍の状況は変わりません。基本的な感染予防対策をしっかり行い、楽しい学校生活にしていきましょう。

第二学年部長 桃井 徹

第三学年部より

3年生のみなさん、いよいよ高校生活、最後の1年となりました。高校生活の2年間が過ぎました。あっという間の2年間だったのではないのでしょうか。「歲月不待人（歲月人を待たず）」という言葉があります。「時は人の都合などお構いなしに過ぎていき、とどまることがない」という意味です。おそらく最後の1年間もあっという間に過ぎ去っていきます。最後の高校生活、残された時間と向き合い、進路のことはもちろんですが、何事にも悔いのないように全力で取り組んでほしいと思います。

そのために、私たち担任団も全力でサポートしていきます。最高の高校生活だったと最後に思えるように精一杯がんばっていきましょう。

第三学年部長 北山 達也

第一学年部



第二学年部



第三学年部

